

半田中央病院

半田 祐彦



施設基準

救急指定病院、労災指定病院、西播磨西部医療圏域脳外科輪番病院

許可病床130床
看護体制 一般病棟入院基本料15対1、療養病棟入院基本料2

入院時食事療養（I）特別管理給食

総合リハビリテーション施設：呼吸器リハ

ビリテーション料I、脳血管疾患等リハビリテーション料I、運動器リハビリテーション料I

関係施設

岡山大学消化器腫瘍外科・脳神経外科・泌尿器病態学・眼科、神戸大学総合診療科・循環器内科（関連病院）、相生市看護専門学校、川崎医療福祉大学、岡山医療技術専門学校、神戸総合医療専門学校、東海医療福祉専門学校、琉球リハビリテーション学院、四国医療専門学校、西はりま医療専門学校、大阪医療福祉専門学校、関西総合リハビリテーション専門学校、神戸医療福祉専門学校（実習指定病院）、相生消防救急救命士病院実習病院

沿革

昭和38年 2月 半田診療所開設
昭和44年 4月 半田外科病院開院 一般60床
昭和44年 6月 病床増床90床
昭和52年 8月 病床増床123床
昭和55年12月 病床増床130床
平成 8年 5月 病床変更 一般病床

95床、療養病床35床

平成18年 1月 医療法人社団天馬会設立

平成18年 8月 居宅介護支援事業所開設

平成19年10月 医療法人社団天馬会半田中央病院に名称変更

平成20年 3月 外来棟新築完成
病棟改装工事完成
認知症対応型共同生活介護事業所開設

病院理念

みてもらいたい・働きたい病院づくり

基本理念

私たちは、地域の人々の心のふれあいを大切にし、人間愛に基づく誠実な医療を提供します。

行動指針

○信頼

- 一、医の倫理を遵守します
- 一、患者様の権利を尊重します
- 一、地域の人々の健康増進を積極的に支援します

○継続

- 一、健康管理から診断・治療・在宅ケア・終末期の総合的医療を展開します
- 一、夜間・休日を問わずいつでも24時間適切に医療を提供します
- 一、切磋琢磨し医療水準の向上と機能の充実を図ります

はじめに

相生市は瀬戸内海沿いの温暖な気候に恵まれ、東に国宝「姫路城」で有名な姫路市、北は童謡「赤とんぼ」で有名なたつの市、西は「忠臣蔵」で有名な赤穂市に囲まれた長閑な田舎町の風情の街です。

当院は兵庫県南西部、「ど根性大根」で一躍全国区になった造船の企業城下町として知られる相生市の中心街に位置しています。

病院の現況と特徴

所在地

兵庫県相生市旭3丁目2番18号

診療科

外科、整形外科、脳神経外科、内科、眼科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、人工透析

病床数

一般95床、医療型療養病棟35床、人工透析18床



○協調

一、患者様およびご家族との協調に努めます

一、地域医療機関との協調に努めます

一、優れたチーム医療の提供に努めます

相生市では昭和の造船不況以降これと言った地場産業も無く、ピークの昭和50年には42,000人であった人口は年々減少し現在は32,000人となり、全国各地の過疎化地域に見られるように高齢者比率が上昇し25.2%に達しています。

当然の如く当院の患者様の年齢層は年々高くなっており、急性期医療のみならず慢性期医療、リハビリテーションそして在宅での介護に至るまで、幅の広いサービスが求められています。

急性期医療としましては、昭和44年より救急指定病院として24時間診療体制を維持し、昨年度の救急車搬入回数は450件を超え、特に脳神経外科分野では西播磨西部医療圏域脳外科輪番病院として24時間いつでも手術が出来る体制をとっています。また平成14年から、交通の便が悪く通院が困難な患者様の為に無料送迎サービスを実施し、現在では1日約50人以上の方にご利用頂き大変好評を得ております。

しかし、最近問題となっている医療制度改革によって医師不足をはじめとした地域医療が崩壊しているのが現実です。当院もその影響をものに受けている状況ですが、地域の住

民の方々から信頼され、この地域で安心して暮らしていける医療・介護の体制を整えること、また真に必要なとされる医療・介護を提供することが私どもの使命であると考えております。

当院は「みてもらいたい・働きたい病院づくり」を理念とし日夜、頑張っています。「みてもらいたい」とは「診て」と「見て」の両方の意味を持っています。つまり身体の調子が悪くなったらまず診てもらうの「診て」、また頑張っている私達（職員一同）を見てもらいたい「見て」です。また「働きたい」と思っただけの病院こそがみてもらいたい病院であると信じております。その為に私たちは「信頼」「継続」「協調」を行動指針の三本柱とし、常に患者様第1主義に徹し職員が切磋琢磨し、自らのスキルアップを図り進歩していきたくと考えております。

そのような考えの下、平成19年10月に外来棟を新築し狭く老朽化していた外来診療環境の改善を行いました。また、並行して病棟の全面的な改装工事を行ない、平成20年3月には計画していた工事がすべて完成しました。それにより患者様のアメニティーは飛躍的に向上しております。

今後の展望

現代の医療は治療医学から予防医学へと変わりつつあります。そんな中、当院のように地域に根ざした医療機関にとっては公共機関と力をあ

わせ生活習慣病の発症予防の検診、指導体制の整備、またこれから増加してくるであろう認知症の患者様に対する介護事業の充実が重要になると考えて平成20年7月認知症対応型共同生活介護事業所を開設しました。

厳しい医療情勢ではありますが、職員一丸となって地域医療の充実、発展に努力していきたくと考えております。また岡山大学の各教室の先生方には大変お世話になっておりますが、今後ともご愛顧のほど宜しくお願いいたします。

付記

相生市では毎年7月に兵庫カップ相生ドラゴンボート選手権大会が開催されます。ドラゴンボート（龍舟）とは、古代中国で生まれた世界最古の手漕ぎ舟（鼓手、舵取り、20人の漕手）の競漕で5月に行われるペーロン祭りについて盛んなイベントとなっています。当院では相生市のイベントに積極的に参加しようということ、結束を高めようという目的で、「HANDARS（はんだーす）」というチームを作り活動しております。今までに下記の通りの成績を残し、来年度はもっと上位をとみんな頑張っています。

- * 2009年兵庫カップ相生ドラゴンボート選手権大会 …… 優勝
- * 第3回関西空港ドラゴンボート大会 …… 優勝
- * 2007年日本国際ドラゴンボート選手権大会 …… 第8位

平成22年4月受理
〒678-0031 兵庫県相生市旭3丁目2-18
電話：0791-22-0656 FAX：0791-22-0259
E-mail：handahp@skyblue.ocn.ne.jp
<http://www11.ocn.ne.jp/~handahp/>